

あまみ 市議会だより

No.63

2021.12



▲令和3年9月1日 奄美市役所本庁舎がグランドオープンしました。

奄美・沖縄 世界自然遺産

©amami-anc

第3回定例会

令和3年9月3日～10月11日

発行／奄美市議会
編集／奄美市議会だより編集委員会

〒894-8555
鹿児島県奄美市名瀬幸町25番8号
TEL: (0997) 52-1111
FAX: (0997) 52-2815
Eメール: gikai@city.amami.lg.jp

第3回定例会一般質問・・・・・・・・・・P2～6

第3回常任委員会の審査概要・定例会の議案・・P7～9

決算特別委員会の審査概要・・・・・・・・P10

活動報告・・・・・・・・・・P11

あとがき・・・・・・・・・・P12



市政を問う

9月6日、7日、8日の3日間で14名の議員が市政全般にわたり施策の状況や方針などについて、市当局に問い質しました。要約をご紹介します。

※下記の二次元バーコードを、スマートフォン等のバーコードリーダーで読み取るか、奄美市議会ホームページで一般質問の録画中継がご覧いただけます。

9月6日

- 1 永田 清裕
- 2 荒田 幸司
- 3 奥 晃郎
- 4 崎田 信正
- 5 元野 景一

9月7日

- 1 竹山 耕平
- 2 西 公郎
- 3 関 誠之
- 4 伊東 隆吉
- 5 橋口 耕太郎

9月8日

- 1 大迫 勝史
- 2 正野 卓矢
- 3 松山 さおり
- 4 川口 幸義



←動画配信はこちら

市長の政治姿勢について



永田 清裕
(無所属)

問 3期12年の総括について

答 この12年間一貫して「市政の主人公は市民である」との認識のもと努めてきた。ハード事業は将来負担を限りなく低減するべく計画的な財政運営の下、進めてきた。ソフト事業は18歳までの全ての子ども達の医療費無償化をはじめ、福祉分野等にも重点的に取り組んだ。今後とも財政基盤を整えながら市民の求めるサービスに努めたい。

問 市民交流センター活用について

答 市民の多様な交流の場として、広くご利用いただくことを目的に整備を進めてきた。管理運営体制はランニングコストを正確に把握する為、奄美市の直営方式で軽減できる経費等を精査する。

市民生活全般及び環境保全等について



荒田 幸司
(日本共産党)

問 新型コロナウイルス感染者の自宅待機者への対応

答 県と医療機関による医師の判断で、必要な方にはパルスオキシメーターを渡したうえで、保健所が電話による健康観察を行っている。また、コールセンターでの異常確認にも直ちに保健所へ連絡・対応できる体制にある。

問 デジタル改革関連法

答 市民がデジタル化の恩恵を受けるために「誰一人取り残さない」デジタル社会の実現と利用者目線に立った「人に優しいデジタル化」の実現が必要である。

問 里山の保全について

答 里山等の多面的機能である水源のかん養や山地災害の防止、生物多様性の保全等を維持増進するために関係機関と連携を

図りながら、里山等の保全に取り組んでいる。

問 小中学校、児童・生徒の大会参加への費用負担について

答 九州・全国大会への参加については、旅費の二部を補助している。両大会出場に伴う自己負担額は、おおよそ53%が自己負担となっている。

【その他の質問】

- ・日米共同実動演習「オリエント・シールド」について
- ・食料自給率の向上と耕作放棄地の活用について
- ・避難所に指定されている体育館のトイレの設置について



合併15年を踏まえての 合併検証について



奥 晃郎
(無所属)

問 合併のメリット及びデメリットについて

答 合併のメリットとして合併自治体の新たな財源となる合併特例債の活用がある。また、旧名瀬市では対象となっていないなかった過疎債についても合併したことにより活用可能となり、これらの財源を活用し、3地域における防災機能を有する庁舎整備や防災行政無線のデジタル化のほか、各小中学校の校舎・体育館の改修など重点的に行ってきた。また、財源に加えて奄美市としてのスケールメリットを活かした施策も展開してきた。

問 デメリットとして住民が不安視する現実を踏まえての対策は

答 笠利地域における東海岸線と西海岸線、特に奄美空港以北との格差対策として、笠利地区全体



▲あやまる岬観光公園

- 【その他の質問事項】
- ・集落活性化に向けての取組について
 - ・防災対策について
 - ・新型コロナウイルス感染症経済支援対策について

難聴者の生活向上のために 補聴器購入費の助成制度の創設を



嶋田 信正
(日本共産党)

問 世界自然遺産登録による来島者の受入れ及び自然保護対策は万全か

答 登録の際に世界遺産委員会から対応要請事項として観光管理、ロードキル対策、河川再生、森林管理の4つについて令和4年12月までに世界遺産センターへの進捗状況の報告が求められている。今後、関係機関等で構成する要請事項タスクフォースを立ち上げ対応する。環境省が整備している奄美大島世界遺産センターは、保全管理や観光管理の拠点施設であり来年8月頃の開所に向け、関係機関と連携し、事業促進に努めたい。

問 介護保険制度の変更による負担増について

答 本市で負担増になる利用者は現時点で預貯金額等の超過による方が25名、施設入所者の食費変

更の方が120名いる。施設入所者の方は、月額2万1,300円の負担増となる。

問 難聴者の生活向上のために補聴器購入費の助成制度を

答 高齢者の補聴器の助成制度を創設している自治体がいくつかある。家族や地域とのコミュニケーションの確保、引きこもりの防止、社会参加の促進などを目的として、助成額に上限を設けて実施しているところが多い。本市は先進事例を参考に「きこえ」に悩む高齢者等の把握に努め、難聴者とのコミュニケーション時の配慮のポイントなどを学べる機会について検討したい。聞くと不安を持っている方の日常生活における不便な思いなどの把握を行うことについて検討したい。助成制度については整理することがまだ多い。

奄美日本復帰の 歴史教育について



元野 景一
(自由民主党)

問 新市長にどのような事を継承、期待したいか

答 行政は継続であり、常に変化を繰り返す社会情勢に即応しながら、市民サービスの充実を図っていくことが行政に求められるものである。市民はもとより、国、県との信頼関係を築きながら、新たなまちづくりを期待したい。

問 奄美日本復帰の歴史教育についての将来構想について

答 奄美市では12月を奄美復帰記念月間とし、奄美の日本復帰に関する学びの場の充実に努めているところである。奄美市には、奄美日本復帰と大きなゆかりのある名瀬小学校にて毎年12月25日の奄美群島日本復帰記念日に石段を舞台に当時への思いを巡らせて、復帰の意義を考える大切な機会

	台風	避難所数	避難者数
H30	19号	34	84
	24号	63	247
R1	開設無し		
R2	10号	75	2,492



と考えている。今後とも学校として奨励し、奄美群島日本復帰の歴史がしっかりと伝承されていくよう教育委員会として力を入れていきたい。

問 直近3カ年の避難所設置及び避難者数の推移について

答 左表のとおりである。なお、令和2年度は気象庁が「特別警報級」と発表し避難者数が大幅に増加した。

屋内で遊べる拠点施設の整備に向けて！



竹山 耕平
(自民党奄美)

問 子育て福祉複合施設計画について（港町地内建設予定）

答 「保健センター」と「老人福祉会館」の機能と子育て支援機能を一つの施設内に整備し、多世代交流活動を行う拠点施設。現在、建設関連費用の高騰や新型コロナウイルスによる生活様式の変化と全体的な事業調整により、整備計画の見直しを行っている。

問 住用三太郎の里施設隣接の「農林産物加工施設」の適切な運営計画を

答 指定管理者は「NPO法人すみようやムラン」ド。専門的な機器も有していることから現在一部利用制限している。利用希望者も多く地域活性化に繋がることから、指定管理者と連携し、機器操作マニュアル作成と加工技術研修会を実施し人材育成を図り、農業生産及び



世界自然遺産登録に伴う観光拠点施設としてサービソ向上に努めたい。

問 保育所等が行う散歩や公園遊びなど、屋外活動利用時の道路（歩道・車道）の安全対策について

答 令和元年度に市内25施設に対して、日常的に集団で移動する経路に危険箇所がないかなど安全点検を依頼した。これまでに定期的な安全点検は実施していない。保育施設から行政に声を上げやすい環境を作るためにも調査や確認を定期的に行う必要がある。

市民生活について



西 公郎
(自民党奄美)

問 市民生活について（台風6号による影響の検証・危機管理）・定期船舶航路欠航状況

答 7月19日から25日までの定期航路の欠航状況については、7日間すべて欠航となっている。

問 冷蔵、冷凍対応型のストックヤードの必要性についての見解は

答 自然災害等を含めた物流機能停止の際におけるストックヤードの必要性については、他の事例や意見等を参考に研究させて頂きたい。

問 ストックヤード建設費を奄振での予算措置についての見解は

答 沖縄県内では、沖縄振興特別推進交付金を活用して、台風等の悪天候時に備えて物資をストックできる機能を持つ、総合物流センター整備の実績



があると把握している。奄振の予算措置や奄美大島全体としての必要性の検討等、実現の可能性について研究させて頂きたい。

問 チャーター機での物資輸送についての見解は

答 島内の食糧等の物資が不足し、緊急的に物資の供給が必要にも関わらず、民間による輸送が難しい場合には、自衛隊による災害派遣も含めて行政の責務として対応する事になると考えている。

問 地方議会議員年金廃止後の動向について

答 平成23年に旧地方議会議員年金制度が廃止され、本格的な検討がなされていない。

朝山市長の次期市政へ期待する施策は



関 誠之
(立憲民主党)

問 市長在任中やり残した重要施策は何で、次の市政にどのように引き継ぐのか

答 「行政は継続である」ので、継続中の大型事業は行政として着実に事業を推進していくことが肝心である。行政が携わる分野にゴールはなく、財政基盤を整えながら、時代に即応した施策の展開が必要であり、市民目線で真摯に取り組んでいくことが求められる。

問 次期奄振事業の現況と課題、今後の日程について

答 現在の「奄美群島成長戦略ビジョン」に変わる「奄美群島新ビジョン（仮称）」の策定を予定している。今年度中に新ビジョンの骨子策定を目指し、来年度（令和4年度）、県が実施予定の奄振総合調査への反映を行いたい。

沖縄法との比較検証は今年度末に期限を迎える沖縄法の政策議論の動向を注視している段階である。

問 世界自然遺産登録後の奄美群島のあり方について

答 身近な自然環境や環境文化が次の世代への宝と再認識し、住民と協働の魅力あふれる世界自然遺産の島として取り組む。

【その他の質問】

- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・学校図書室への新聞配備の現況と必要性
- ・住用排水機場排水ポンプの定期点検について
- ・島民に世界自然遺産体験学習の無料化を。



国道58号和瀬バイパス

城地区道路整備について



伊東 隆吉
(自由民主党)

問 城集落より、道路整備早期供用開始について奄美市長及び市議会へ要望書が提出されているが、進捗状況は

答 現在の道路の拡幅を要望するものであり、現在県への要望書の提出にあたり、関係の皆様の用地の協力への同意について確認を行っている。県の管理する道路だが、城地区の狭隘な道路状況の改善に向け協力していきたい。

問 希少野生動植物の持ち出し阻止に際し空港及び港湾でのチェック体制は

答 奄美空港では航空法に基づき手荷物検査時に発覚する場合が多く、違法性の有無など判断し、必要に応じて環境省職員、駐在する警察や航空会社などと連携して対応を行っている。名瀬港にお



いて現在は乗船時の手荷物検査は実施していない。世界自然遺産登録後の希少野生動植物の保護は重要な取り組みと考えており、関係機関で情報共有のうえ、連携して対応していきたい。

問 新型コロナウイルス感染症「まん延防止重点措置」区域外について

答 区域外への時短要請はあくまで要請に留まるものであり法的強制力はない。今回、飲食店の営業との事だが、感染拡大防止の徹底に向け県が調査を行うこと。

【その他の質問】

・マリンタウン事業について

新型コロナウイルス感染症の

本市の傾向について



橋口 耕太郎
(公明党)

問 感染者の年齢構成はどのように推移しているか

答 感染者の9月6日現在の年齢構成は左記表のとおり。

10才未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
4.0%	8.6%	14.3%	21.1%	13.7%	10.9%	12.3%	5.1%	6.6%	3.4%

問 観光客や島外からのいわゆる「入り込みの方」の感染状況は

答 8月中旬に把握している

島外者の感染者数は15名中には、ワクチン接種済の方、PCR検査で陰性の方もいる。

問 国指定の難病等で、本市内の医療機関で診察できない方への旅費助成はできないか

答 本市では、18歳未満の方を対象に、「心身障害児療養旅費助成」を行っている。質問の本島内で治療できない18歳以上の方は、どれだけ人数がいるか、ニーズの把握ができていないため、関係機関と情報共有を図り、実態把握から取り組む必要がある。他自治体の取り組みを参考に、県への要請が必要なのかどうかも含め研究課題としたい。

【その他の質問】

・水害対策（流域治水、防災対策（防災ラジオの有償配布）について

・市職員の採用状況、メンタルヘルスについて

市民の健康と子育て支援について



大迫 勝史
(公明党)

問 高校生以下の「新型コロナウイルスワクチン接種」時に同伴する保護者にも接種するシステムはできないか。

答 同日の接種を希望する場合は予約コールセンターで予約できる。WEB予約でなく電話で予約していただくように周知していく。

問 「带状疱疹」は50歳から80歳までに3人に1人が発症し、後遺症として「带状疱疹後神経痛」を伴い様々な合併症を引き起こすといわれる。「予防ワクチン」で防げるが助成制度の検討はどうか

答 「带状疱疹」を防ぐための「予防ワクチン」は非常に効果的であることは認識している。県内の助成状況などを確認して助成制度の研究をしていく。

問 3歳児健診時の視覚検査に弱視を見逃さないための簡便な屈折・眼位スクリーニング機器を導入して頂きたい。

答 視覚検査の2次検査においても検査が困難な対象児童に対して機器活用は非常に有効だと考える。今後、導入自治体の情報を収集してまいりたい。

【その他の質問】

・「新型コロナウイルス」関連について（医療、介護関係者以外の各家庭を訪問する職種就労者）へのワクチン接種証明カードの発行について

・防災について（気象アドバイザーの活用について）



世界自然遺産

保全と活用について



正野 卓矢
(チャレンジ奄美)

問 石垣島が行っている「あんしん島旅プレミアムパスポート」奄美でも導入できないか

答 奄美満喫ツアーや特産品プレゼントキャンペーン等を通じてコロナ禍における観光対策を行ってきたい。

問 世界自然遺産保全と活用について

答 自然環境や生物多様性を継承していきつつ観光利用が集中する金作原やナイトツアーの利用の試行についても情報発信につとめ島を挙げて進めていく。

問 アドベンチャーリズムについて

答 奄美にはマングローブカヌーや森のトレッキング・島唄体験など、様々な自然や文化を体験できる幅広いニーズに対応し新しい学びを提供する可能性を有している点にお

いても適した観光形態である。

問 ユーバーサルツーリズムについて

答 個々の状況により特性や困り事・支援・対応手段が異なるので、受入態勢の改善に努めていきたい。

問 出荷できなかった農作物（マンゴー）等について

答 農家の経営安定を図るため収入保険制度や農業共済への加入促進を図りたい。

問 school（スクー）について

社会人のビジネススキル・情報活用能力向上を目的とし取り組んでいる。市民の皆様にもっとご活用いただけるように広報していきたい。



星空保護区について



松山 さおり
(自民党奄美)

問 奄美の観光での星空ウォッチングの効果は

答 あまみ観光物産連盟が宿泊施設の宿泊客に対し星空観察を提供し、全6回の星空講座を実施している。延べ120名程度の宿泊業者が参加した。

また、あやまる岬では指定管理者主催で夜空を利用したイベントを計4回実施。奄美大島における星空ウォッチングは、有効な観光コンテンツとして可能性が広がるものと認識している。

問 星空保護区のモデル地区を作ることはできないのか

答 星空保護区への登録に向けては基準をクリアにするために夜間の明かりを抑える必要があり、制限への理解や安全確保の面において、十分な議論を要するものと考えている。

問 子どもの養育費を受け取っていない世帯は

答 奄美市において、養育費を受け取っている世帯は、児童扶養手当受給者全体の約1割となっている。

問 養育費の立て替えはできないのか

答 子育て支援の方法としては、一定の効果があるものと考えているが、本市においては関係機関との連携の強化や、市民に寄り添った相談窓口としての機能をより強化していきたいと考えている。

【その他の質問】

・女性がん検診について
・離島甲子園について



児童生徒の健全育成について



川口 幸義
(自由民主党)

問 学力の向上について

答 奄美市の「学力向上・授業改善5つの方策」に基づいた授業改善、授業セミナーによる質の充実

自主学習の習慣化を目標とした家庭学習の充実、過去の良質な問題や教育センターのWEB問題の活用等を中心に取り組んできた。これらの取組を通して令和3年1月に行われた鹿児島学習定着度調査では、小学校5年生が県平均を4教科中2教科で上回り、中学1年生2年生共に県平均を5教科中4教科で上回る結果が出ている。しかし、小学校における算数・理科、中学校における数学では基本的な学力の定着が不十分な教科もある。各校の研究授業等へ指導主事を積極的に派遣し、学校の要望や学習の定着状況に応じた専門的な指導を

行い、各学校の実態に応じた学力向上に取り組む。

問 新型コロナウイルスについて、濃厚接触者等の家族に誹謗中傷やいじめなどの事案を起こさないために教育委員会としてどのような取り組みを行っているか

答 各学校には、常日頃より感染者、濃厚接触者とその家族に対する誤解や偏見に基づく差別は行わないよう指導している。ワクチン接種についても強制ではないこと、身体的な理由や様々な理由によりワクチンを接種することができない人や、接種を望まない人もいること、またその判断は尊重されることを指導している。



第3回定例会 常任委員会 審査概要

9月13日 文教厚生委員会
9月14日 産業建設委員会
9月15日 総務企画委員会

上記の日程で議案について審査しました。
委員会の審査について一部ご紹介します。

総務企画委員会

危険空き家等除却助成金▼120万円

問 危険空き家除却の1件当たりの費用は。
答 大体100万円前後から300万円位で助成金の限度額は30万円となる。

奄美・沖縄世界自然遺産の日にに関する条例の制定について

世界自然遺産登録された7月26日を記念の日とし、自然環境の保全・継承、地域振興を図る。

問 自然保護と地域振興の位置付けについて
答 自然環境に負荷を与えないよう、遺産価値の保全と持続可能な利用の両立に向けて取り組む。

問 自然を守り残すための人づくり

答 奄美大島5市町村で、先進地屋久島や奄美大島の自然環境を学ぶ環境学習を実施するなど取り組んでいる。

奄美駐屯地への電子戦部隊配備に関する説明会開催を求める陳情 ▼不採択

【議員からの主な意見】

・一般に聞き慣れない部隊で恐れみたくないものがあると思うので早めに説明を求めることが必要。

・国を守るための装備品をすべてさらけ出す必要があるかを地方の議会で議論するところではない。

産業建設委員会

ポストコロナ農業生産体制革新プログラムの事業 ▼314万5千円

問 この事業についての詳細な説明を。

答 県の補助事業であり、現在奄美漁協にてコンテナや大型クーラーボックスの運搬で手動のフォークリフトを使用しているが、労力や時間がかかるうえ、人との接触機会が多くなっているため、バッテリーフォークリフトを導入し改善を図るもの。

奄美交付金活用新型コロナ感染症対策利子補給事業 ▼1,150万円

問 予定事業所数、利子補給の期間、金利の上限、対象となる業種については。

答 60件ほどの利子補給を想定しており、期間は3年間、金利の上限は2パーセントとなっている。対象となる業種については、市内に本店・支店等を有する中小企業で、新型コロナウィルスにより影響を受けていることを条件に幅広い業種を対象としている。

水道事業会計について

問 企業債の借入や償還における今後の見込みについては。

答 今年度の借入見込額は4億4,000万円ほどとなっており、借入と償還を比較すると借入のほうが多い形となっている。経営戦略の中で、企業債残高については平準化していく必要があると考えており、今後は借入と償還が同程度、2億円から2億5,000万円ほどになればと考えている。

文教厚生委員会

令和3年度奄美市一般会計補正予算（第4号）

問 生活困窮者自立支援金について

答 社会福祉協議会の資金貸付終了後、求職活動等条件を満たす場合、単身世帯6万円、2人世帯8万円、3人以上世帯10万円を最長3か月間支給する。

問 学校支援員等報償金について

答 年々特別な支援を要する児童生徒の増加により特別支援教育支援員等の勤務時間の増加に伴い謝金を増額する。

令和3年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算（第2号）

問 新型コロナ感染症緊急対策事業における備品購入費について

答 住用診療所において院外での発熱外来診療を行うにあたり、発熱を伴う腹部疾患等の診断のため、携帯型超音波画像診断装置を購入する。

奄美市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

主たる生計維持者である保護者が単身赴任等により、奄美市から転出することで、子ども医療費の助成対象外とならないように保護者を主たる生計維持者に限定せずに「子どもを監護している者」と改める。

第3回定例会の議案

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
	専決処分の報告について (専決第12号 市営住宅の使用料滞納に係る訴え提起前の和解申立てについて)		
	専決処分の報告について (専決第14号 和解について)		
報告第6号	専決処分の承認を求めることについて (専決第13号 令和3年度奄美市一般会計補正予算(第3号)について)	承認	本会議
議案第52号	令和3年度奄美市一般会計補正予算(第4号)について	原案可決	全委員会
議案第53号	令和3年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決	文教厚生
議案第54号	令和3年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	文教厚生
議案第55号	令和3年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決	文教厚生
議案第56号	令和3年度奄美市水道事業会計補正予算(第1号)について	原案可決	産業建設
議案第57号	令和3年度奄美市下水道事業会計補正予算(第1号)について	原案可決	産業建設
議案第58号	奄美・沖縄世界自然遺産の日に関する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第59号	奄美市過疎地域自立促進特別事業基金条例及び奄美市過疎地域産業開発促進条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第60号	奄美市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第61号	奄美市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第62号	奄美市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第63号	奄美市市民交流センター条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第64号	奄美市過疎地域持続的発展計画の策定について	原案可決	総務企画
議案第65号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	本会議
議案第66号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	本会議
議案第67号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	本会議
議案第68号	令和2年度奄美市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	一般会計

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
議案第69号	令和2年度奄美市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第70号	令和2年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第71号	令和2年度奄美市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第72号	令和2年度奄美市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第73号	令和2年度奄美市訪問看護特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第74号	令和2年度奄美市ふるさと創生人材育成資金特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第75号	令和2年度奄美市と畜場特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第76号	令和2年度奄美市交通災害共済特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第77号	令和2年度奄美市水道事業会計の利益処分及び決算認定について	原案可決及び認定	特別会計
議案第78号	令和2年度奄美市下水道事業会計の利益処分及び決算認定について	原案可決及び認定	特別会計
議案第79号	令和2年度大島農業共済事務組合農業共済事業決算認定について	認定	特別会計

請願・陳情の状況

受理番号	件名	提出者	結果	付託委員会
陳情第5号	奄美駐屯地への電子戦部隊配備に関する説明会開催を求める陳情	戦争のための自衛隊配備に反対する奄美ネット 代表 城村 典文	不採択	総務企画

■前定例会からの継続審査

受理番号	件名	提出者	結果	付託委員会
陳情第3号	奄美市住用町市湾の沿岸に堆積している土砂の撤去に関する陳情	住用町市集落 区長 森 紘道	継続審査	産業建設

賛否が分かれた案件

賛否が分かれた案件を議員ごとに掲載しています。（○は賛成・●は反対）※与勝広議員は議長職の為、表決権はありません。

議案番号・件名	議員名（議席番号順）																			【○賛成数】	【●反対数】	
	正野卓矢	弓削洋平	永田清裕	奥晃郎	荒田幸司	崎田信正	橋口耕太郎	柴ヤスエ	大迫勝史	松山さおり	林山克巳	西公郎	関誠之	奥輝人	川口幸義	伊東隆吉	元野景一	与勝広	竹山耕平	多田義一		
陳情第5号 奄美駐屯地への電子戦部隊配備に関する説明会開催を求める陳情	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	-	●	欠席	3	15

令和3年・決算に関する特別委員会

委員会で行なわれた審査の一部をご紹介します。

一般会計決算等審査

総務費

- 問** 国勢調査のインターネット回答率について。
- 答** 新型コロナの影響もあり、インターネット回答率は、前回H27の調査時の17.5%から、R2は41.8%と大きく増加した。
- 問** 特別定額給付金の支給状況は。
- 答** R2の6月から支給をはじめ、9月半ばには全世帯への支給を完了した。

民生費

- 問** お達者ご長寿応援の3地区での利用率のばらつきについて。
- 答** 住用・笠利地区で利用できる施設が少ないため、R2では、笠利の新規事業所の追加や住用の有償移送ボランティアの実施など利用環境の整備に努めた。

商工費

- 問** 中小企業振興会議の内容等について。
- 答** 中小企業の振興に有効な施策の策定・実施の検討のため官民17名の委員で構成。R2は、新型コロナ感染防止対策や水際対策への助成検討やほーらしゃ券の協議などを実施した。

農林水産費

- 問** 農林水産物輸送コスト支援事業補助金の不用額2,180万7,759円の要因は。
- 答** 特に水産物では、モズクの生育不良や車エビの新型コロナの影響による出荷の減少などが要因となっている。

土木費

- 問** 市道赤木名・笠利線の現状と今後について。
- 答** 3期工事を令和10年度までの計画で進めている。進捗率は令和2年度末で62.7%。

教育費

- 問** 大島北高教育振興議会について。
- 答** 大島北高の教育振興に関する施策の提案、活性化を図る支援、学校側の取組への意見交換、生徒募集に関連したPRなどを行っている。

特別会計決算等審査

国民健康保険事業特別会計

- 問** 一般会計からの繰入金で2億円から1億5,000万円となった要因は。
- 答** 平成27年度から収納率が上がっており、さらには国の財政支援等の措置も講じられたことにより収支が改善されている。法定外繰入金を除いた形で収支を安定させなければならないため、減額を行っている。
- 問** 傷病手当金563万2,000円が執行されなかった理由は。
- 答** 新型コロナウイルスによる傷病手当金だが、申請が1件もなかったため。

介護保険事業特別会計

- 問** 生活支援体制整備事業の取り組みについて。
- 答** 市内を8地区に分けて、各地域の支え合いの体制づくりや課題の解決に向けて住民とともに取り組んでいる。

水道事業会計

- 問** 有収率の向上について。
- 答** 有収率を下げる主な原因は漏水であるが、抜本的対策としては管路更新しかないと考えている。更新には多額の費用がかかることから、財政状況を確認しながら進めていきたい。また、給水人口が減少傾向なのでダウンサイジング等の対応も検討したい。

奄美市ふるさと創生人材育成資金特別会計

- 問** この特別会計が廃止になるとのことだが、今後については。
- 答** 事業は継続し、基金による運用とする。基金運用だと経済的に困窮している世帯等に対し、弾力的な貸付を行うことができる。



市制施行 15 周年記念式典

市民交流センター落成式と同日に奄美市市制施行15周年記念式典が行われました。オープニングで朝日中学校吹奏楽部による演奏の映像が流れたほか、市政功労者への表彰が行われました。



▲与議長によるあいさつ

市民交流センター落成式

10月2日、市民交流センター落成式が行われました。図書室やギャラリーコーナーなどが設けられており、「マチナカホール」の緞帳（どんちょう）は田中一村作品「奄美の海に蘇鉄とアダン」を原案に製作されました。



▲10月5日から供用開始となった交流センター



▲マチナカホールの緞帳（どんちょう）



▲マチナカリビング（図書・学習コーナー）

世界自然遺産祝賀記念プロジェクションマッピングイベント



10月23日、世界自然遺産登録記念イベントが行われました。本庁舎前の絢スクリーンを活用し、登録までの過程や豊かな自然、文化を紹介する映像が映し出されました。

議会の動き

【8月】

- 4日 議会だより編集委員会
6日 議会運営委員会・全員協議会
24日 議会運営委員会
26日 一般質問通告
27日 議会運営委員会

【9月】

- 1日 市民広場オープン
3日 第3回定例会開会・本会議
6日 一般質問
7日 一般質問
8日 一般質問
10日 本会議・全員協議会
13日 文教厚生委員会
14日 産業建設委員会
15日 総務企画委員会
24日 本会議・全員協議会
27日 決算審査特別委員会
28日 決算審査特別委員会
29日 決算審査特別委員会
30日 決算審査特別委員会

【10月】

- 2日 奄美市民交流センター落成式
奄美市市制施行15周年記念
式典
- 8日 特定環境保全公共下水道
赤木名浄化センター通水式
- 11日 最終本会議
- 16日 笠利町招魂祭式典
- 23日 世界自然遺産記念式典
知事とのふれあい対話
奄美・沖縄世界自然遺産登録祝
賀プロジェクトマッピング
イベント
- 30日 天城町町制施行60周年式典

第4回定例会の予定

12 December

2021 (令和 3 年)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8 開会	9	10 一般質問	11
12	13 一般質問	14	15 本会議	16	17 常任委員会	18
19	20 常任委員会	21	22 冬至	23	24	25 クリスマス
26	27 最終本会議	28	29	30	31 大晦日	1

年賀状などのあいさつ状の禁止について

政治家は、「公職選挙法第 147 条の 2」によりその選挙区内にある者に対して年賀状・寒中見舞状等のあいさつ状を出すことが禁止されています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

「議会をご覧になりませんか」

議会では、市民生活に関係のある重要な問題が審議されています。

議会を傍聴して、市政の動向や皆さんが選んだ議員の活動を間近でご覧になれます。

「傍聽」

事前連絡は不要です
奄美市役所名瀬庁舎8階
にお越しください。

「議會中継」

議会の様子を
インターネットで
生中継しています。

編集あとがき

市議会だより

編集委員会

【委員長】

元野

【副委員長】

荒田

【委員】

弓削

奥

橋口

松山

林山

関

第3回定例会が10月11日に終了しました。今議会は決算議会とも言われ、奄美市の1年間のお財布事情を審議する議会です。平成17年の合併以降、初めて令和2年度の決算、歳入額が417億4,695億7千円となり400億を超えました。その要因は、総額55億6,237万9千円のコロナ対策費で、市民一人・10万円を給付した特別定額給付金の43億2,092万7千円が主なものです。この歳入は、全額国からであり、市財政に直接影響を及ぼすものではありません。他にコロナ対策で県から1億2,020万1千円の歳入がありまし

た。決算の概況は、紙面の都合で省きます。この議会を最後に、合併後の3地区の均衡ある発展に尽力した朝山市長が退任をされました。老子の名言に「功遂げて身退くは、天の道なり」とあります。まさに潔い身の引き方だと思いました。3期12年たいへん、お疲れ様でした。私ども市議会議員は、誰が市長職に就任しようが「執行機関と一歩離れ、二歩離れるな」を信条に、住民の声や心を代表する市議会となるよう頑張っています。今後とも、市民の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

(関 誠之)